



環境研究総合推進費シンポジウム2015 @辺土名高校

やんばるの森にふさわしい 生態系管理のために

主催 国立研究開発法人 森林総合研究所
共催 琉球大学農学部・東京農工大学・長崎大学環境科学部
後援 環境省那覇自然環境事務所・沖縄県立辺土名高校



やんばるの森（5月，沖縄県国頭村）

講演内容と演者

調べてなっとく！やんばるの森

高嶋敦史（琉球大学農学部与那フィールド）

齋藤和彦（森林総合研究所関西支所）

やんばるの森の希少なネズミを調べてみると

安田雅俊（森林総合研究所九州支所）

世界遺産ってなに？：やんばるの世界自然遺産登録に向けて

木村麻里子（環境省やんばる自然保護官事務所）

一難去ってまた一難，小笠原諸島のラスボスは誰だ？

川上和人（森林総合研究所野生動物研究領域）

日時 平成27年11月26日（木）

開場 17:30 講演 18:30～20:30

辺土名高校ポスター発表 17:30～18:30

会場 沖縄県立辺土名高校

多目的教室（管理棟2階）

（沖縄県国頭郡大宜味村饒波2015）

対象 一般の方々 とくに国頭村・

大宜味村・東村の方々

申込・参加費 不要

お問い合わせ： 国立研究開発法人 森林総合研究所

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1 電話 029-829-8224（直通） FAX番号 029-874-3720 電子メール abeshin@ffpri.affrc.go.jp

環境研究総合推進費シンポジウム2015@辺土名高校

やんばるの森にふさわしい生態系管理のために

本シンポジウムは、H27年度に新規採択された環境省環境研究総合推進費(4-1503)「奄美・琉球における森林地帯の絶滅危惧種・生物多様性保全に関する研究（H27～29）研究代表者：正木隆（森林総研）」の研究成果を地域や行政機関等に速やかに還元し、連携して研究プロジェクトを推進するために実施します。本研究プロジェクトは、国立研究開発法人森林総合研究所、国立大学法人琉球大学、国立大学法人東京農工大学、国立大学法人長崎大学の共同研究事業です。また当日は、辺土名高校環境科およびサイエンス部によるポスター発表を同時開催します。

日時：平成27年11月26日（木） 場所：沖縄県立辺土名高校 多目的教室（管理棟2階）

17:30 開場

17:30～18:30 辺土名高校ポスター発表

18:30～20:30 講演

開会挨拶 正木隆（森林総合研究所森林植生研究領域長）

調べてなっとく！やんばるの森

高嶋敦史（琉球大学農学部与那フィールド）・齋藤和彦（森林総合研究所関西支所）

目の前に広がるやんばるの森。この森からの恵みは、地域の私たちの暮らしを豊かにしてくれました。また近年は、ユニークで多様な生き物たちも暮らす森として、広く注目を集めるようになっていきます。では、今後私たちは、この森とどのように歩んでいけばよいのでしょうか？そのヒントを探るべく、これまで取り組んできたやんばるの森に関する調査や資料収集の成果を報告したいと思います。

やんばるの森の希少なネズミを調べてみると

安田雅俊（森林総合研究所九州支所）

オキナワトゲネズミは、かつて沖縄島全体が森におおわれていた頃（1～2万年前）にはほぼ全島に分布していましたが、今はやんばるの限られた森に少数が残るだけで、絶滅のおそれが高くなっています。絶滅を回避し、やんばるの固有性を守るためには、まずその分布や生態をくわしく調べる必要があります。私たちが新たに開発した調査方法と、それでわかってきたトゲネズミの不思議な生態を紹介します。

世界遺産ってなに？：やんばるの世界自然遺産登録に向けて

木村麻里子（環境省やんばる自然保護官事務所）

現在やんばるを含む奄美・琉球（奄美大島、徳之島、やんばる、西表島）が世界自然遺産登録の候補地になっています。テレビなどで「世界遺産」という言葉はよく耳にするかもしれませんが、そもそも世界遺産とは何なのか、どうしたら登録されるのか、なぜやんばるが候補地になっているのか、本当に世界遺産になるのか、世界遺産になったら何が変わるのか…などについてお話しします。

一難去ってまた一難、小笠原諸島のラスボスは誰だ？ *環境研究総合推進費(4-1402)の成果です。

川上和人（森林総合研究所）

小笠原諸島は2011年に世界自然遺産に登録され、その生態系を守るために外来種のヤギやネズミ、樹木などの駆除事業が進められている。これらの駆除の結果、在来生物相の回復が見られている一方で、予期せぬ結果も生じている。たとえば、ヤギがいなくなることで食害を受けていた外来植物が増加し、かえって在来種が圧迫されるような事例もある。小笠原で直面している様々な事例から、生態系の保全方法について一緒に考えてみましょう。

総合討論 やんばるの森にふさわしい生態系管理とは

閉会挨拶 濱口寿夫（沖縄県立辺土名高校校長）